

学 校 名	東京学芸大学附属小金井中	実施年月日	平成17年 2月17日
指 導 者	村野芳男	授業コード	M-7
学 年	1学年	教 科	社会科
単 元 名	世界の国々調べ (2) アメリカ合衆国を調べる		
単 元 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 超大国アメリカ合衆国の多様性（自然・民族・文化・産業など）と統一性に興味を持ち、意欲的に調べようとしている（関心・意欲・態度）。 ・ 超大国アメリカ合衆国の持つ世界への影響力の源泉を具体的な資料を基に多面的・多角的に考察している（思考・判断）。 ・ 様々な資料を関連させて、アメリカ合衆国の持つ特色、大きさの考察に役立てている（技能・表現）。 ・ アメリカ合衆国の多様性・先進性などについて具体的に理解し、知識として身に付け、それを利用して自分なりのアメリカ合衆国像を説明できる（知識・理解）。 		
単元の指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界への影響から見たアメリカ合衆国（学習課題をつかむ） ・ 農業から見たアメリカ合衆国（本時） ・ 工業から見たアメリカ合衆国 ・ 人々の生活から見たアメリカ合衆国 ・ 民族の構成から見たアメリカ合衆国 ・ 自分なりのアメリカ合衆国像を描こう 		
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界市場に出回っている主要農産物の流れをくみ取ることによって、世界の食糧供給におけるアメリカ合衆国の役割を考えさせる。 ・ アメリカ合衆国の農業の有り様を、大規模農業・適地適作をキーワードに理解させる 		

本時の学習活動の展開

導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2004年、日本から牛丼が消えたことに気づきその理由を発表する。 <p><生徒>アメリカからの牛肉の輸入がストップしたから</p> <p><教師>アメリカ以外の国から輸入できないの？</p> <p><生徒>アメリカの牛肉は安い。アメリカはたくさん牛肉を生産している。アメリカの牛肉は日本人の好みに合っている。・・・</p> <p><情報提供>・アメリカ合衆国輸入牛肉の輸出先シェア（デジタルコンテンツ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ農産物貿易額の推移（デジタルコンテンツ） ・ アメリカ合衆国の農産物の輸出相手国（デジタルコンテンツ） <p>・ 学習課題の把握 アメリカ合衆国が世界の「パンかご」と呼ばれるのはなぜだろう</p>
-----	---

<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題について自分の予想をノートに書く。 ・ 自分の予想を発表する <ul style="list-style-type: none"> <生徒> ・ 土地が広いから ・ 気候が良いから ・ たくさんとれるから余る ・ 機械を使っているから安くできる ・ 農業がさかん ・ 予想の検証・・・予想を裏付けるデータを探し、発表する（地図帳・教科書） ・ 課題の解決（第一次） 広大な土地に大型の機械を使って大量に生産するので安くできるので競争力がある ・ デジタルコンテンツを使って大規模農法の様子を確認する（小麦の収穫・大豆畑・牛の飼育・酪農） ・ 地図帳でアメリカ合衆国の自然と農業地域の図を比較し、気づいたことを発表する。 ・ <生徒> ・ 大西洋側の平地の部分で農業がさかん。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業地域が帯状に広がっている ・ 西に進むにしたがって降水量が減少し、牧畜になっている・・・ ・ 適地適作について教師の話聞く ・ センターピボットの写真をみて、適地適作を越えた農業が展開していることに気づき、その問題点を予想する。
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日学習したアメリカ合衆国の農業について不安はないか発表する <ul style="list-style-type: none"> <生徒> ・ 日本の農業がつぶれてしまう ・ 遺伝子組み替え技術の話聞いたことがある ・ アメリカの農業の世界に対する影響力の大きさを確認し、新たな疑問・今後の学習課題を確認する。
<p>デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨</p>	<p><グラフ>農水省 HP 海外農業情報 (http://www.maff.go.jp/kaigai/2004/20040107newyork97a.htm) のデータをグラフ化した。教師の教材研究の一環として作成したものであるが、生徒の調べ学習でも検索・利用は可能である。</p> <p><写真>帝国書院のホームページよりダウンロード http://www.teikokushoin.co.jp/10_world/kuni/kakuchi/157/12.html</p> <p>アメリカ合衆国各地の写真の中から農業に関する写真を選び、パワーポイントで編集しCDに焼いた。地理的分野の授業は生徒にいかに関与感をもたせるかということが大事なポイントとなる。その点、写真資料には説得力がある。しかし、本時のコンテンツの使い方は教師の説明や生徒の発言を教師が検証・確認するだけの使い方で行われている。生徒に課題意識を持たせたり、一面的な生徒の思考を拡張したり深化させる反応教材としての使用方法にまで行き着かず、平板な授業展開・教師主導の授業展開に終始してしまう可能性を多分に含んでいる。</p>